

令和2年度（2020年度）  
第2回 沖縄歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会

日時：令和3年2月19日（金）  
20:00～21:30

場所：沖縄歯科衛生士学校  
WEB開催

【出席者】

氏名	所属	種別
上江洲 朝 男	琉球大学教職センター 教授	教育・学術機関
中 神 順 子	沖縄県歯科衛生士学校同窓会 会長	同窓会代表
仲 程 尚 子	沖縄県歯科衛生士会 監事	業界団体代表
武 富 良 悟	株式会社 沖縄歯科器材 専務	企業
平 敷 幸 浩	株式会社 ちとせ印刷 専務取締役	企業
真境名 勉	沖縄歯科衛生士学校 校長	オブザーバー
新 崎 隆	沖縄歯科衛生士学校 教務部長	〃
上 原 生 子	沖縄歯科衛生士学校 教務主任	〃
志喜屋 やよい	沖縄歯科衛生士学校 教務副主任	〃
眞玉橋 由 和	沖縄歯科衛生士学校 専任教員	〃

次 第

司会進行：新崎教務部長

1. 開会
2. 校長挨拶
3. 出席者紹介
4. 協議事項
  - (1) 令和2年度（後期）学校自己評価結果について
  - (2) 令和3年度 学校自己評価の内容改訂について
5. 令和3年度 学校関係者評価委員の委嘱について
6. その他
  - (1) 令和3年度 第1回 開催予定について
7. 閉会

## 第2回 学校関係者評価委員会報告

### I. 重点目標について

#### 1. 重点努力目標について

- ・文末を動詞で揃えるように文言を訂正した方が良い。
- ・学生側からの視点で追加をしてはどうか

### II. 各評価項目について

#### 1. 教育理念、目標、人材育成像

この部分の評価については、あまり変化があってはいけない部分だと思うが、学生・保護者等への周知について、評価が下がっている事の意味は何を指しているのか。周知はしているけれどもそれが不十分だと感じている事だと思うので、学校の目指す「教育理念、教育目標、人材育成増」を学生・保護者等へ伝える・見せる機会を増やす、伝える術を考える必要がある。評価者がマイナス評価をどう捉えているか、確認する必要がある。設問もマイナス評価理由を必ず記入する等、工夫した方が良い

#### 2. 学校運営

人事・給与に関する制度の整備については、評価がかなり高くなっているのは今の時代に即した、人事給与が整備されていると読み取れる。働き方改革と言われる中で、改善されたという事は、働く側にとっても安心して勤務出来る職場であると想定される。1ポイント上がるということは、一人ひとりが1段階上がる事なので、凄い事だと思う。前期から後期にかけてやってきた事の成果がここに出ていると理解できる。

#### 3. 教育活動

(目標設定)

特に問題無し

(教育方法・評価等)

授業評価の実施・評価体制の評価が下がっている。前回の学校関係者評価委員会で、その取り組みについて検討課題になっていたと思うが、その整備がまだできていないということなのか。この体制を構築するのが改善につながるのではないかと思う。大学等では当たり前のように授業評価を実施している。今後は、それが当たり前のように実施出来るよう、少しずつ構築していく取り組みを期待する。学生からの評価を数値化する客観評価は、講師側の意識改革も期待できるのではないか。

(資格試験)(教職員)

特に問題無し

#### 4. 学修成果

就職率の向上については、100%歯科衛生士として勤務しているのであれば、評価‘4’となるのでは？ 情報提供の不足が見える。評価者の評価が難しい内容の部分を無理矢理評価させると甘くなったり、厳しくなったりと信憑性に欠ける結果を招きやすいのではと感じている。評価者全員が設問内容を出来るような工夫の必要を感じる。「文言の説明集」や「具体的な例」等を作成してはどうか。

#### 5. 学生支援

卒業生への支援体制、社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備についての評価が上がっている理由が、「復職支援」体制の充実と、「専門実践教育訓練指定講座」の認定を受けた事による、社会人入学生への手厚いサポートの充実である事が理解できた。評価が上がる理由がしっかりとある。

#### 6. 教育環境

改善方策に向け対応を期待

#### 7. 学生募集

特に問題は無し。今後も工夫しながら取り組みを期待

#### 8. 財務

今後、校舎の老朽化への対応につき検討が必要

#### 9. 法令等の遵守

自己評価結果を公開しているが、前期の評価が低いのは周知不足の為なのか。今後はHP 公開日を明記する必要があると思われる。

#### 10. 社会貢献・地域貢献

沖縄県歯科衛生士会でも、毎年「いい歯の日」イベントを開催しており、以前は学生部会に入会している学生参加もありましたが、最近は少ないように感じます。現場の歯科衛生士との交流や実際の公衆衛生での活動場面も間近で見学出来る良い機会です。是非、学生への周知や支援をお願いしたい。

#### その他所見

令和と共に始まった学校評価委員会は軌道を作りそれに載せていく為に、少しずつ道筋が出来つつある段階だと思いますが、一番の課題は評価者が全項目を評価するのが妥当なのかということと、何を根拠に評価者が評価するのか明確にする必要性についてだと思う。関係者の日々の苦労をそれ以外の方々が評価するには、評価の根拠を明示し、更に設問の文言を工夫する必要があると感じている。

評価者の「成果」「課題」「改善方策」の記載方法は、どの設問と繋がるものなのか文頭を揃えらるともっと理解しやすい。